

【事業名】資源循環情報の動静脈連携におけるプロトタイプ実証

事業者名：株式会社NTTデータ

実施期間：令和6年7月～令和7年2月

1. 事業の背景・目的

経済産業省「成長志向型の資源自律経済戦略」を踏まえ、CEを成立させるためには、①品質向上、②量の確保、③適正なプライシング、④用途拡大、⑤エコデザイン推進、⑥貢献の見える化といった要件が必要で、これら全ての要件の達成には必要な施策を効率的・効果的に進めるための情報流通プラットフォームの構築が必要だと考える。

情報流通プラットフォームでは、企業や業界の垣根を超えて、情報・取引の秘密を守りながら資源循環に資する情報を連携・管理することが想定される。

本実証事業では特定の産業・材料において、資源循環に重要な情報の特定及び情報伝達における課題抽出、経済課題解決・社会課題解決(CO2排出量削減)に向けた論点抽出を目的とする。

2. 補助事業の概要

下記について実証を行った。

- ELV規則案による必要性の高さや他産業への展開可能性より、自動車業界におけるプラスチックリサイクルを実証対象に選定。
- 自動車解体業務の高度化やリサイクル材の品質保証及び適切な流通を促進させるため重要となる情報項目案及び期待効果の妥当性について複数の動静脈企業へプロトタイプを用いて実証を行い、情報連携の社会実装に向けた課題抽出と検討方針整理を実施。
- また、実証対象における社会課題と経済課題の解決に向けた検討方針整理を実施。

